

審議会等の会議の記録

会議の名称	令和6年度 第3回伊勢崎市男女共同参画推進協議会
開催日時	令和7年1月29日(水) 午前10時～11時
開催場所	市役所 東館3階災害対策室
出席者氏名	<p>【委員】 日詰会長、渋澤副会長、江原委員、阿久津委員、尾島委員、川田委員、西田委員、新井委員、吉澤委員、女屋委員</p> <p>【事務局】 市民部長、市民部副部長、人権課長、人権課長補佐、男女共同参画係</p>
傍聴人数	0人
会議の議題	<p>1 第4次伊勢崎市男女共同参画計画（案）について</p> <p>2 その他</p>
会議資料の内容	<p>(1)「第4次伊勢崎市男女共同参画計画（案）」に関するパブリックコメント 手続の結果（資料1）</p> <p>(2)第4次伊勢崎市男女共同参画計画（案）（資料2）</p>
会議における 議事の経過及び 発言の要旨	<p>【協議会】</p> <p>1. 開 会 〔出席委員が過半数を超え会議が成立していることを事務局から報告〕</p> <p>2. 挨拶(会長)</p> <p>3. 議 事</p> <p>事務局 〔議事(1)について説明〕</p> <p>会長 それでは、ご意見を伺います。</p> <p>委員 男女共同参画の意識については浸透してきているが、今後もさらに、男女共同参画の推進を行っていく必要があると感じています。</p>

会議における
議事の経過及び
発言の要旨

委員

「男女共同参画」という言葉が多くの方に広まってきているのは、男女共同参画に関するアンケート等を実施している結果であると思います。

資料2の8ページ「夫は仕事、妻は家庭を中心にすべきである」について、どちらかといえば反対・反対が増加傾向にあるということは、今後、各分野においても男女の地位が平等になっていくことが予想される、良い傾向ではないかと感じています。

資料2の21ページ「母子家庭等対策総合支援事業」とあるが、男女平等の実現のためには、母子家庭だけでなく、生活に困窮している父子家庭にも目を向ける必要があると思います。困難な問題を抱える女性などへの支援を生活困窮している家庭への支援に変えていくことも、今後の課題であると感じています。

委員

男女共同参画の推進と考えると、目標設定だけでは今後推進は難しいため、枠組みから変えていく必要があると思います。例えば、管理職に女性を何%配置すると決めておき、その中で起こる問題について対処していかなければ、今後の男女共同参画の推進は難しいと感じます。

委員

学校現場において、男女の差異は認めつつ、差別はしてはならないという方針です。学校現場においても、多くの方に男女平等であると感じていただけるように、取組を見直してまいります。

委員

男女共同参画という言葉は理解しつつも、現実的に何をすべきなのかが、理解できていない方も多いのではないかと感じます。そのため、今後も男女共同参画に向けた啓発活動を実施していただきと感じます。

委員

資料2の22ページ「成果指標一覧」について、現状値と目標値の設定が記載されていますが、目標を達成するために中間年の指標はとりますか。

事務局

現状値を基準として、毎年度、進行管理を実施していきます。進捗状況にあわせて、目標値と乖離しているような施策があれば、改善に向けた取組も行っていきたいと考えております。

委員

男女共同参画については、興味・関心の有無がはっきりしていると感じるため、教育現場などで幼少期から、男女共同参画の意識付けについて、工夫して行っていただければと思います。

委員

警察現場においても、男性職員の育児休暇取得率の増加や女性幹部の増加など、男女共同参画が進んできていると感じています。

会長

それでは、第4次男女共同参画計画（案）については、協議会の最終案といたします。

4. その他

5. 閉 会

【市長提言】

1. 開 会

2. 提 言

3. 挨 拶(市長)

4. 閉 会